

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2015年 第43週 (10/19-10/25) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	43週	42週	41週	40週
小児科	18	18	16	18
眼科	5	5	3	5
インフルエンザ*	28	28	25	27
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	10/19-10/25	10/12-10/18	10/5-10/11	9/28-10/4	10/12-10/18
			43週	42週	41週	40週	42週
小児科	RSウイルス感染症		7 0.39	8 0.44	8 0.50	7 0.39	123 0.91
	咽頭結膜熱		0 0.00	1 0.06	3 0.19	3 0.17	28 0.21
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		29 1.61	25 1.39	38 2.38	21 1.17	292 2.16
	感染性胃腸炎		56 3.11	52 2.89	45 2.81	73 4.06	367 2.72
	水痘		4 0.22	3 0.17	3 0.19	6 0.33	40 0.30
	手足口病	↓	30 1.67	46 2.56	38 2.38	69 3.83	183 1.36
	伝染性紅斑	○	17 0.94	9 0.50	11 0.69	16 0.89	61 0.45
	突発性発しん		7 0.39	15 0.83	15 0.94	17 0.94	54 0.40
	百日咳		1 0.06	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.03
	ヘルパンギーナ		1 0.06	0 0.00	9 0.56	13 0.72	30 0.22
	流行性耳下腺炎		7 0.39	9 0.50	11 0.69	8 0.44	101 0.75
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		4 0.14	2 0.07	1 0.04	2 0.07	33 0.15
眼科	急性出血性結膜炎		1 0.20	1 0.20	0 0.00	0 0.00	1 0.03
	流行性角結膜炎	○	16 3.20	8 1.60	7 2.33	15 3.00	28 0.82
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		2 2.00	0 0.00	1 1.00	0 0.00	0 0.00
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		1 1.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(8件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	30歳代	画像診断等	レジオネラ症	男性	80歳代	病原体抗原の検出
結核	男性	30歳代	病原体等の検出	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	女性	80歳代	細菌の検出及び薬剤耐性の確認
結核	男性	40歳代	画像診断				
結核	女性	30歳代	IGRA検査	急性脳炎	男性	10歳代	高熱及び中枢神経症状
結核	女性	50歳代	IGRA検査	-	-	-	-

・結核5件(181)、レジオネラ症1件(11)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(12)、急性脳炎1件(12)の報告があった。

※ ()内は2015年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

### 定点当たり報告数 第43週のコメント

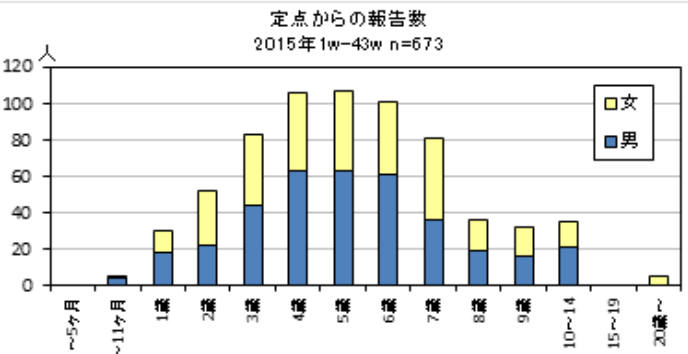
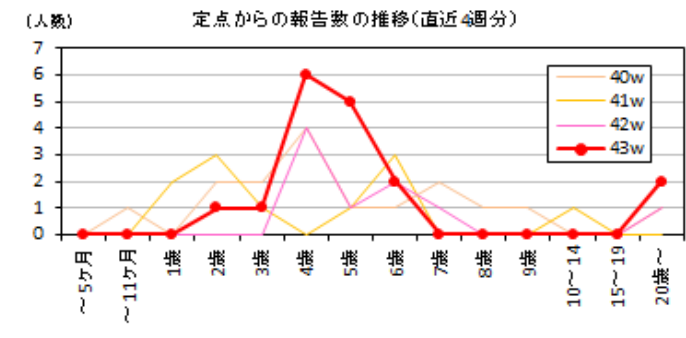
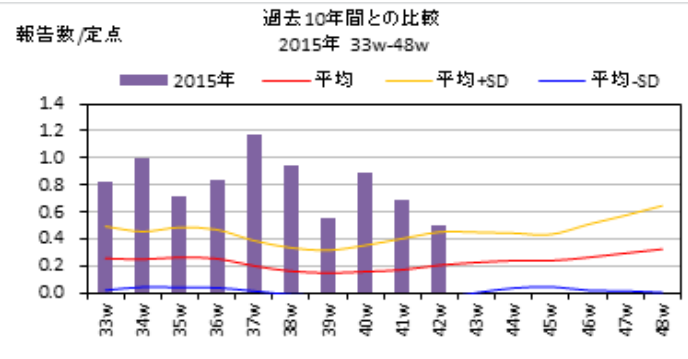
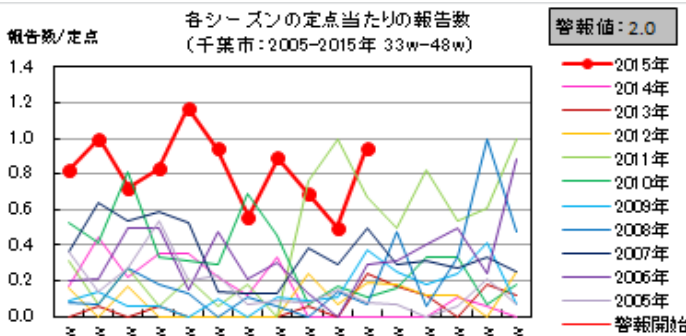
<伝染性紅斑>前週より増加し0.94となった。過去10年の同時期と比べると最多。

<流行性角結膜炎>前週より増加し3.20となった。過去10年の同時期と比べると最多。

■ トピック ■

＜伝染性紅斑＞

全国レベルの第42週現在は、過去8年の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では、大分県、熊本県、福島県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルよりやや多めとなっています。千葉市の2015年第43週は前週より増加し0.94となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況は、若葉区で流行発生警報開始基準値(2.0/定点)に達しており最多で、同区の4歳で最も多く発生報告がありました。2015年第1週から第43週までの累積報告数(n=673)によると、性別では男性が54.5%(367名)、女性が45.5%(306名)で、年齢階級別では5歳(15.9%:107名)、4歳(15.8%:106名)、6歳(15.0%:101名)の順に多くなっています。



＜流行性角結膜炎＞

全国レベルは第34週から過去8年の同時期と比べると最多の状態となっており、第42週現在も同様となっています。都道府県別では、宮崎県、熊本県、愛媛県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルとほぼ同等となっています。千葉市の2015年第43週は前週より増加し3.20となり、過去10年の同時期と比べると最多のままとされています。区別の発生状況は、美浜区(15.0/定点)で増加し再び流行発生警報開始基準値(8.0/定点)を上回り最多となっており、同区の30歳代で最も多く発生報告がありました。2015年第1週から第43週までの累積報告数(n=159)によると、性別では男性が49.7%(79名)で女性が50.3%(80名)で、年齢階級別では30歳代(23.3%:37名)、40歳代(18.2%:29名)、50歳代(11.3%:18名)の順に多くなっています。

